

基本施策名	45	住む人にとって魅力ある商店・商店街をつくる	評価責任者 (基本施策主管課長)	商工労働観光課長 松本 浩典
-------	----	-----------------------	---------------------	-------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	便利
	政策	日常生活に不便を感じないまちづくり
① 市民意識調査結果		<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>市民意識調査によると、本基本施策の必要度は平均より高く、満足度は平均より低いことが伺え、現況に対し必要な施策であることが判明した。</p>
③ 基本施策の現状と課題	市民意識調査の回答者属性別をみると比較的高年齢者の回答が多く、日常的な買い物の利便性を考えると、地域に密着した店舗を維持していく必要がある。また、市街地においては、ロードサイド店と棲み分けのできる独自の魅力と集客力のある店舗を導入していく必要がある。	
④ 基本施策の意図、今後の展望	伊賀市における小売商業施設は、大多数が市街地外に立地し、中小規模の商店が市街地内に集積しているが中心商店街では空き店舗が増え、商業基盤の低下が見られるが、こうした空き店舗や町家を利用した新規参入者を支援するとともに多様な顧客ニーズに応えるため不足業種への業態変更など事業主による魅力的な商店・商店街形成の支援を実施したい。	

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる基本施策指標候補	重点化
空き店舗	空き家・空き店舗補助活用件数	1
魅力的な商店・商店街	通行量、小売業年間販売額	2

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			ベンチマーク	指標の説明
		H20	H21	H22	H25	H30		
1 空き家・空き店舗補助活用件数	目標	件	2	3	4	5	5	空き店舗活用による活性化
	実績	件	2	3				
	達成率	%	100.0	100.0				
2 小売業年間販売額	目標	百万円	2452	2452	2452	2460	2500	商業統計調査による
	実績	百万円	2452	2452				
	達成率	%	100.0	100.0				
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				

⑥基本施策構成事務事業の評価

	担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			重点化
					H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額	
1	産業建設部 商工労働観光課	656-1	商工振興経費		1,770	1,940	1,840	
2	産業建設部 商工労働観光課	656-2	商工業振興経費		14,390	13,890	13,590	
3	産業建設部 商工労働観光課	656	商工振興経費		119,786	52,000	151,200	
4	産業建設部 商工労働観光課	660-1	個店の機能強化と商店街機能の充実		1,690	1,690	1,690	
5	産業建設部 商工労働観光課	660-2	住みよいまちの実現と意欲の高揚		8,500	8,500	8,500	
6	産業建設部 商工労働観光課	660	中心市街地への誘客の強化		28,634	27,150	26,450	
7	中心市街地活性化推進室	708	中心市街地活性化事業		4,944	6,775	6,775	
8								
9								
10								
（以下 続紙）								
事業費 合計					179,714	111,945	210,045	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等
業態変更支援事業(商店街)	市	商店街において、市民ニーズに対応すべく、不足する業種を補うため業態変更する商店主に対し、一定の支援措置を講ずる。

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	空き店舗を解消していくことは、商店街の活性化及びにぎわいの創出につながり、新規出店者が出店できる環境整備こそが重要である。
2 事業構成の適当性（手段として最適か？）	商店街等活性化への補助金、負担金事業が中心であり、補助事業等の内容についてもマンネリ化して変化がない。
3 役割分担の妥当性	事業主自らが、市街地に点在する空き店舗等を利用した集客イベントの開催や魅力ある商品づくりなど積極的な意識改革が必要である。それら取り組みに対し支援方法について協議していく必要がある。
4 総合評価（今後の展開、事業の見直し等）	駅前再開発ビルの完成後には、市の一部機能が移転するため、確実に現在より多くの市民が駅前ビルに訪れることになる。いかにそこから商店街へ導けるか(魅力ある商店街として)が重要で、個店、商店街、地元住民が一体となって集客イベントの開催や個店ではきかない高齢者等への宅配サービス・訪問販売など地域での高齢者見守りとしての役割を果たすなど組織として取り組むことに対して支援を図っていきたい。